

# ネットリテラシーの基本

## ネットは世界中の人を見ている

TwitterのようなSNSは、その発言は基本的に全世界に公開されています。一方、お友達登録が前提となるLINEをはじめとするSNSは、一般的に仲間同士の内輪話のように思われていますが、思わぬところからその発言や写真が外に出てしまう事態も起こっています。

## ネット情報を鵜呑みにしない

ネットにはウソの情報がいっぱいです。SNSなどにある自己紹介にはウソが多く、有名サイトや宅配便などを装ったメールなどにはフィッシングサイトへ誘導するものも少なくありません。また、災害や感染症拡大など社会が不安になっているときは、ウソの情報が飛び交います。ネット情報には常に疑いをもって接するようしてください。



## 面と向かって言えないことはネットでも言わない

ネットでの発言は相手の顔が見えないので、ひどい言葉を平気で言ってしまうという特徴があります。これは相手の状況も同じなので、ひどいことを言うと、もっとひどい言葉が返ってきて、その罵り合いが泥沼のような応酬に結びつきがちです。こうなると、毎日、ディスプレイを眺めてはストレスをため込む日々となってしまいます。

## ネットで行ったことは通信事業者に記録が残っている

自分ではこっそり行動しているつもりでも、電話会社には契約したユーザーがネットで行った行動が通信記録という形で残されています。犯罪予告などをした人が警察に逮捕されてしまうのはそのためです。つまり「ネットは決して匿名ではない」ということです。

## ネットに一度出たものを全て回収することは不可能

ネットに掲載された発言や写真はそれを閲覧した人が自由にコピー出来ます。そのため、なにか問題になった時にもとのファイルを消したところで、ネット内には既に無数にコピーが存在していると考えるべきであり、これらをすべて消すなどということは実質的に不可能です。

※ ネットリテラシーとは、一般に「ネットワークを正しく利用する能力」との意味合いで使われてますが、ここでは少し意味を限定して「ネット・トラブルに巻き込まれないための自衛能力」という意味で使いました。